



2011年3月期 決算説明会資料

2011年5月27日
ディーブイエックス株式会社
(証券コード:3079 JASDAQ)



循環器分野に強い「医療機器販売会社」

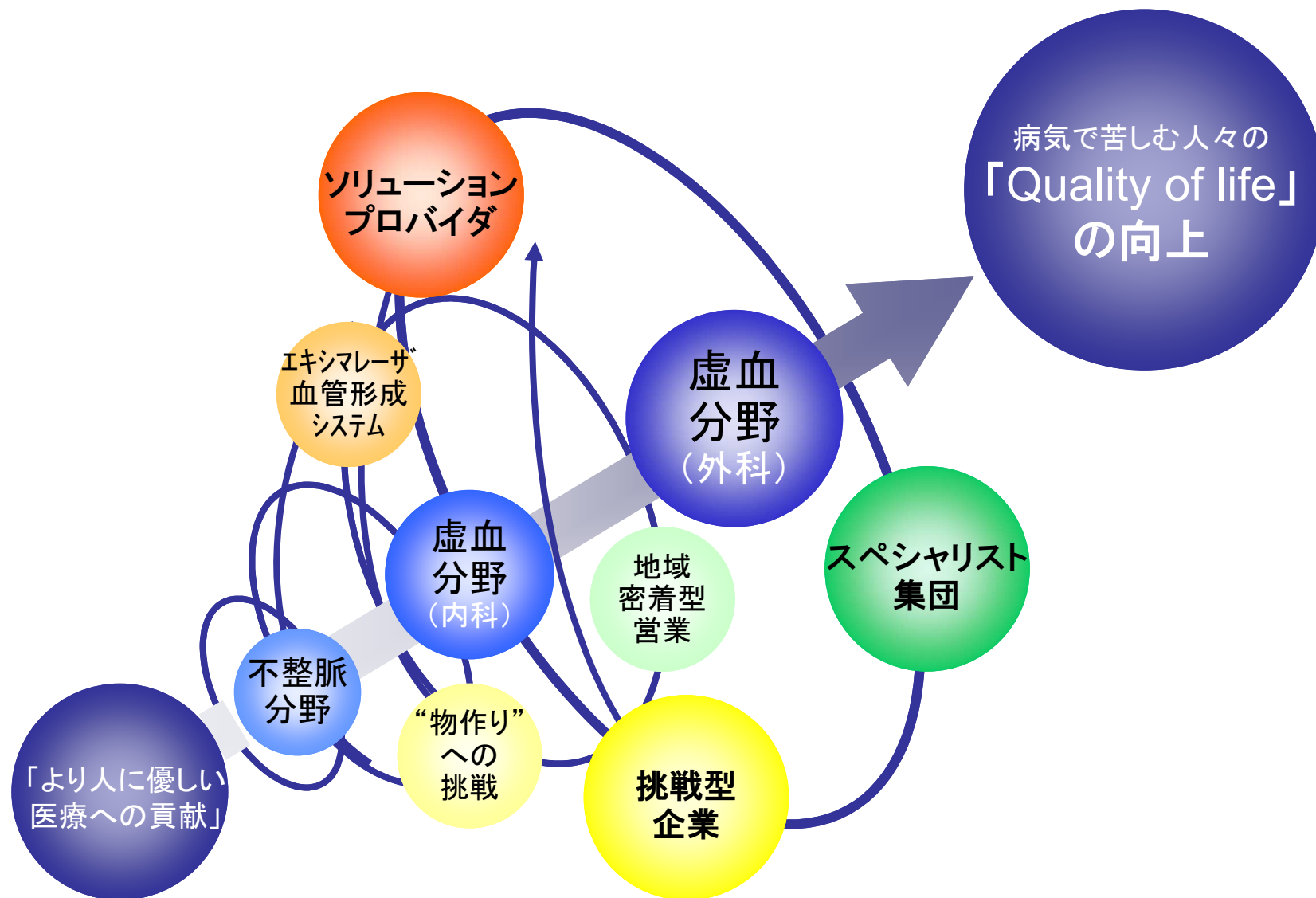
- 社 名 ディーブイエックス株式会社 (DVx Inc.)
- 所 在 地 東京都豊島区高田二丁目17番22号
- 代 表 者 代表取締役社長 若林 誠
- 営 業 拠 点 国内15ヶ所 (ほか2ヶ所の出張所)

沿革

- 1986年 **心臓ペースメーカー販売**とフォローアップ業務を目的として、(株)ヘルツを設立
- 1992年 **心臓電気生理検査用機器**の輸入販売を開始
- 1997年 医療機器輸入会社(有)シー・エム・アイジャパンを子会社化
(株式会社に改組後、ディーブイエックスジャパン(株)に商号変更)
- 2000年 **自動造影剤注入装置**の輸入販売を開始
- 2003年 **エキシマレーザ血管形成システム**の輸入販売を開始
- 2004年 ディーブイエックスジャパン(株)を吸収合併、(株)ヘルツからディーブイエックス(株)に商号変更
- 2007年 ジャスダック証券取引所 (現：大阪証券取引所JASDAQスタンダード) に株式上場
- 2008年 「**エキシマレーザ心内リード抜去システム**」の薬事承認を取得
- 2010年 静岡営業所をはじめ計4ヶ所の営業所を開設。

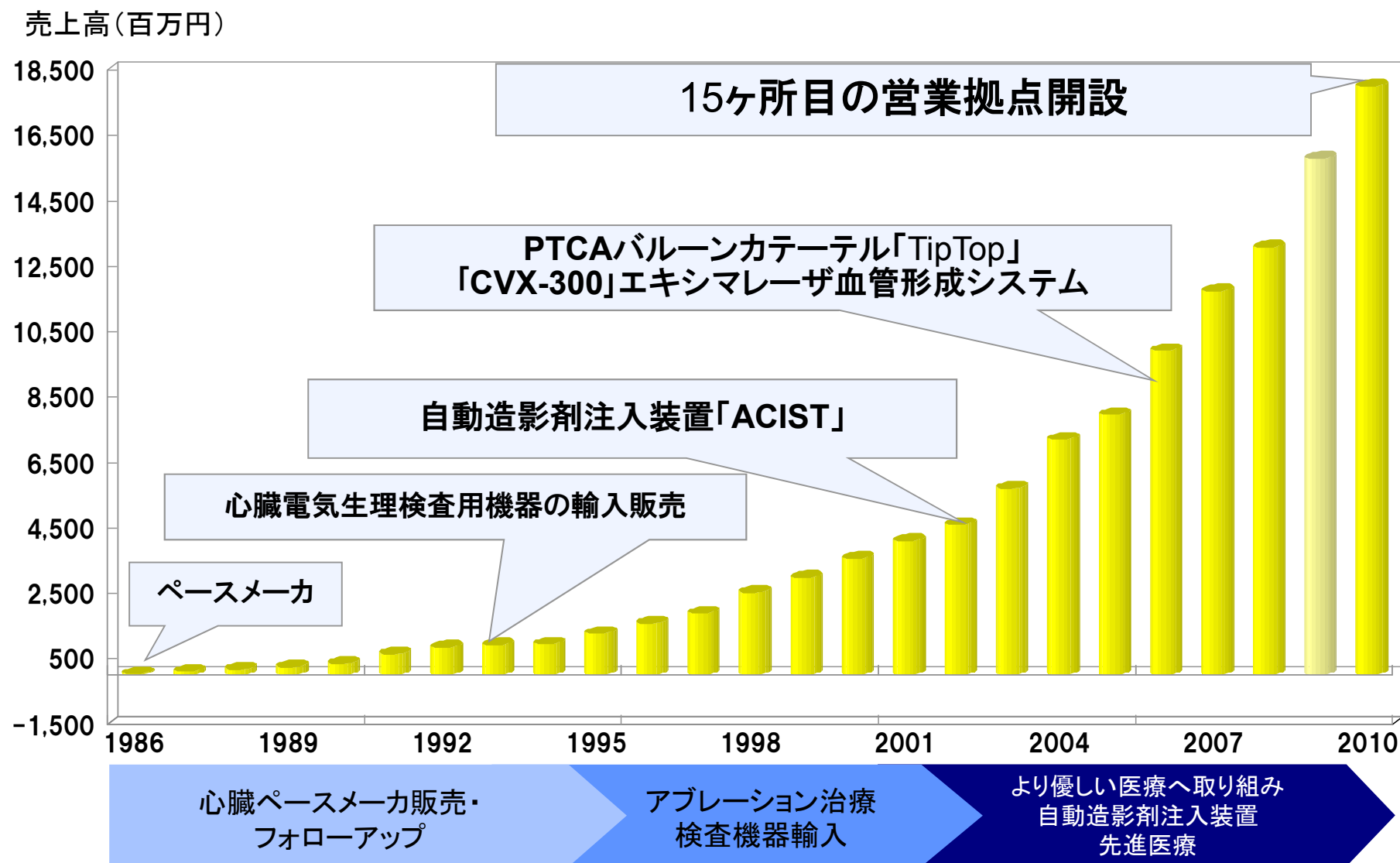
循環器専門に発展を目指す“スペシャリスト集団”

医療現場に携わる企業としての使命を果たし、企業発展を実現



当社の歩み

ニーズを先取りして、高付加価値サービスを開拓



I 決算(実績と予想)

II 中期経営の方向性

2011/3期 IRトピックス

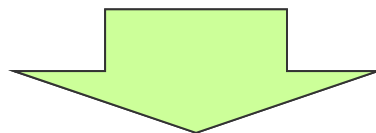
- 2010年4月 「事業譲受に関する契約締結のお知らせ」を公表
- 5月 「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を公表
「会計監査人の選任に関するお知らせ」を公表
2010年3月期決算を公表
- 6月 静岡営業所、沼津営業所、浜松営業所開設
- 8月 東京営業所開設
- 10月 「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」を公表
- 11月 2011年3月期第2四半期決算を公表
- 2011年2月 2011年3月期第3四半期決算を公表
- 2011年5月 「配当予想の修正に関するお知らせ」を公表
2011年3月期決算を公表

2011/3期 決算のポイント

Point: 逆風の事業環境下で2011/3期がスタート

- ・特定保険医療材料に関する「保険償還価格」の引き下げ

Point: 売上成長の持続と、前年実績以上の営業利益の確保を重要目標として事業を展開



2011/3期実績

- ・売上高は期初予想比5.8%増、営業利益も期初予想比14.3%増を達成

売上高：18,000百万円（期初予想：17,004百万円）

営業利益：779百万円（期初予想：682百万円）

11/3期 決算概況

(百万円、%)

	10/3期	11/3期			期初予想
			前年比	期初予想比	
売 上 高	15,793	18,000	114.0	105.9	17,004
不整脈事業	13,581	14,688	108.2	102.8	14,285
虚血事業	2,188	2,918	133.3	108.1	2,699
売上総利益	3,185	3,425	107.6	-	-
営業利益	661	779	117.9	114.3	682
経常利益	668	784	117.3	115.5	678
当期純利益	324	357	109.9	95.7	373

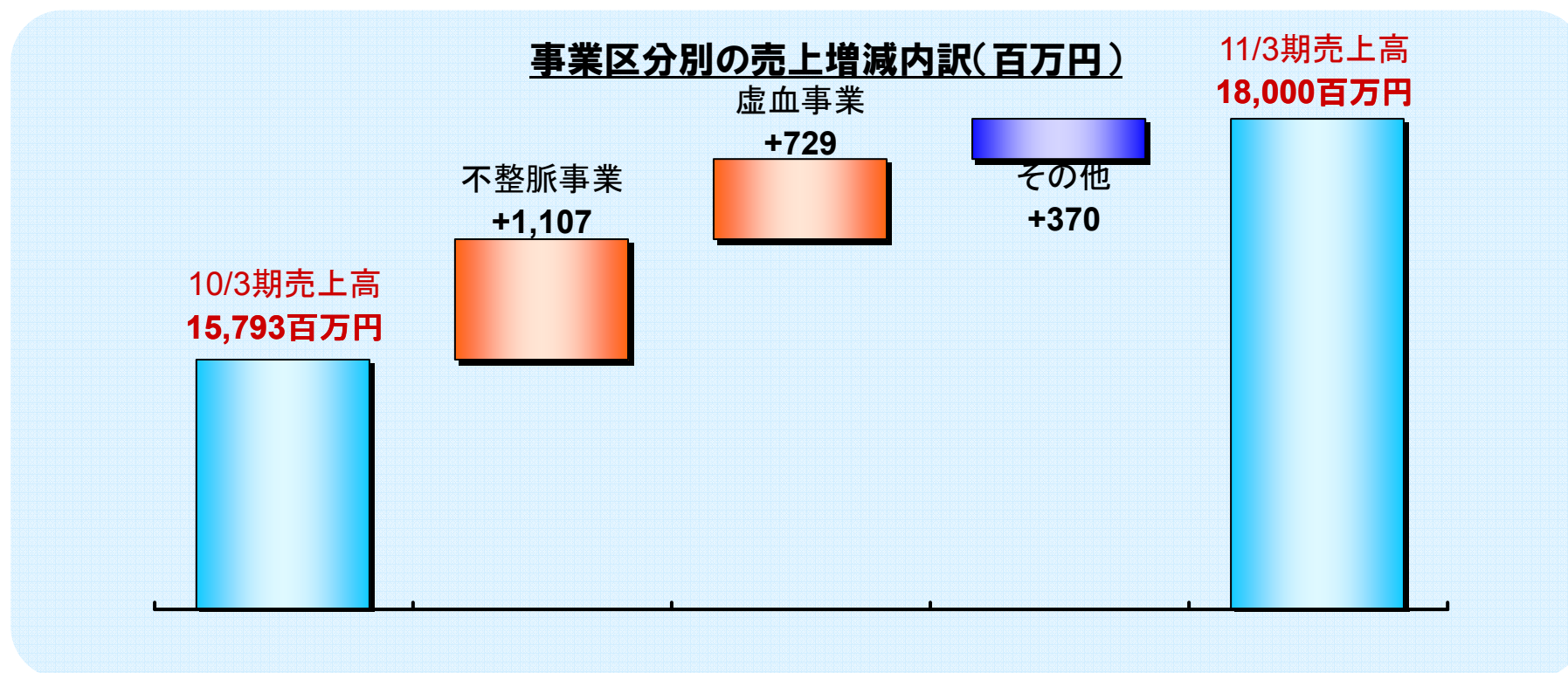
・主力商品で販売価格下落はあったが、売上高は前年比114.0%。

✓虚血事業は期初予想を上回り、前年比2桁増。不整脈事業も拡大持続。

・営業利益は前年比117.9%、目標を大きく上回る前年比2桁増を実現。

✓当期純利益も期初計画を若干、下回るものの、前年比9.9%増。

11/3期 売上高の増減内訳



・不整脈事業の売上増減要因(前年比+1,107百万円)

- ✓保険償還価格低下の影響を補い、ICD関連、電極カテーテル関連の増加が牽引。
- ✓PM関連は計画通り下期に回復、通期では前年比プラスを確保。

・虚血事業の売上増減要因(前年比+729百万円)

- ✓「ACIST」の本体機器、ディスプレイキットが順調に増加
- ✓エキシマレーザーも売上に寄与

12/3期 通期業績予想

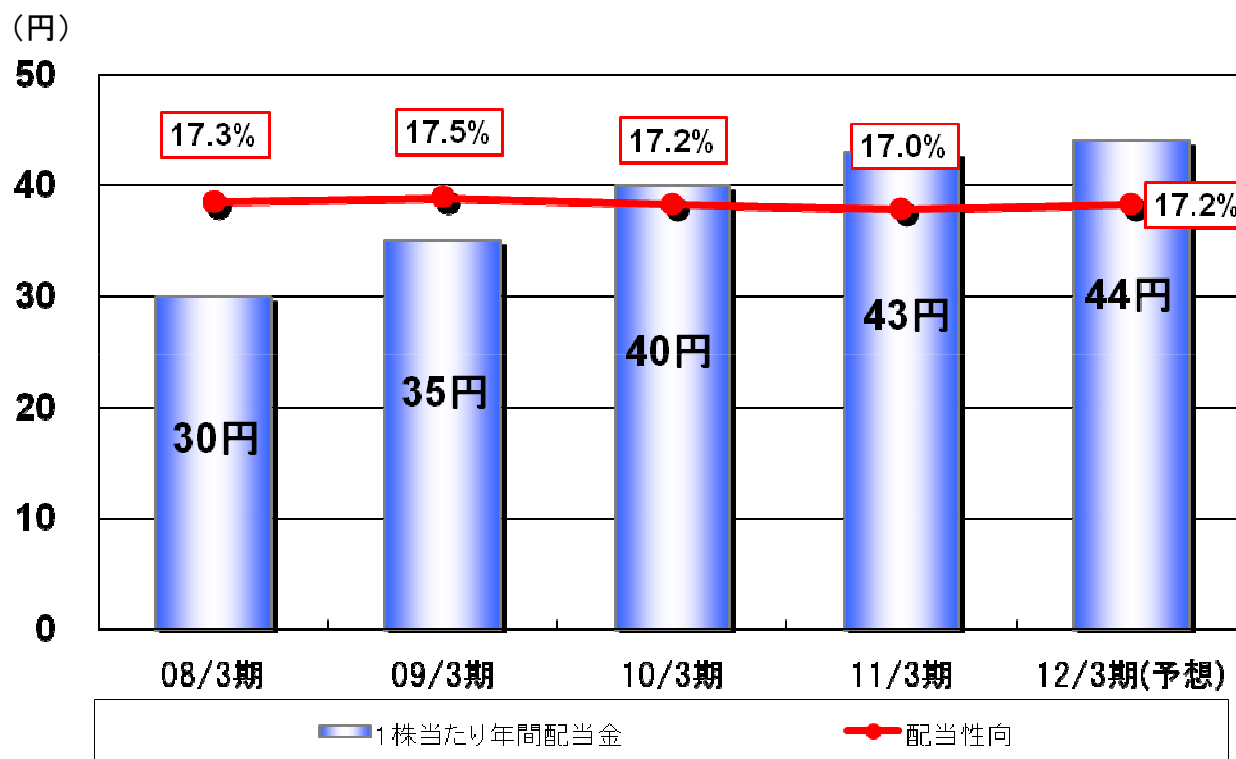
(百万円、%)

	11/3通期	12/3通期	前年比
売上高	18,000	20,016	111.2
不整脈事業	14,688	16,083	109.5
虚血事業	2,918	3,389	116.2
その他	393	543	137.9
営業利益	779	701	89.9
経常利益	784	696	88.8
当期純利益	357	361	101.2

- ・不整脈事業の拡大、虚血事業の強化により、売上高は前年比111.2%。
- ・償還価格の改定は無いが、震災に伴う病院サイドの厳しい値下げ要請
 ✓販売数量増などで対応するも、営業利益は1割減が見込まれる。

2012/3期配当予想

持続的な業績向上を通じた安定配当を目指す



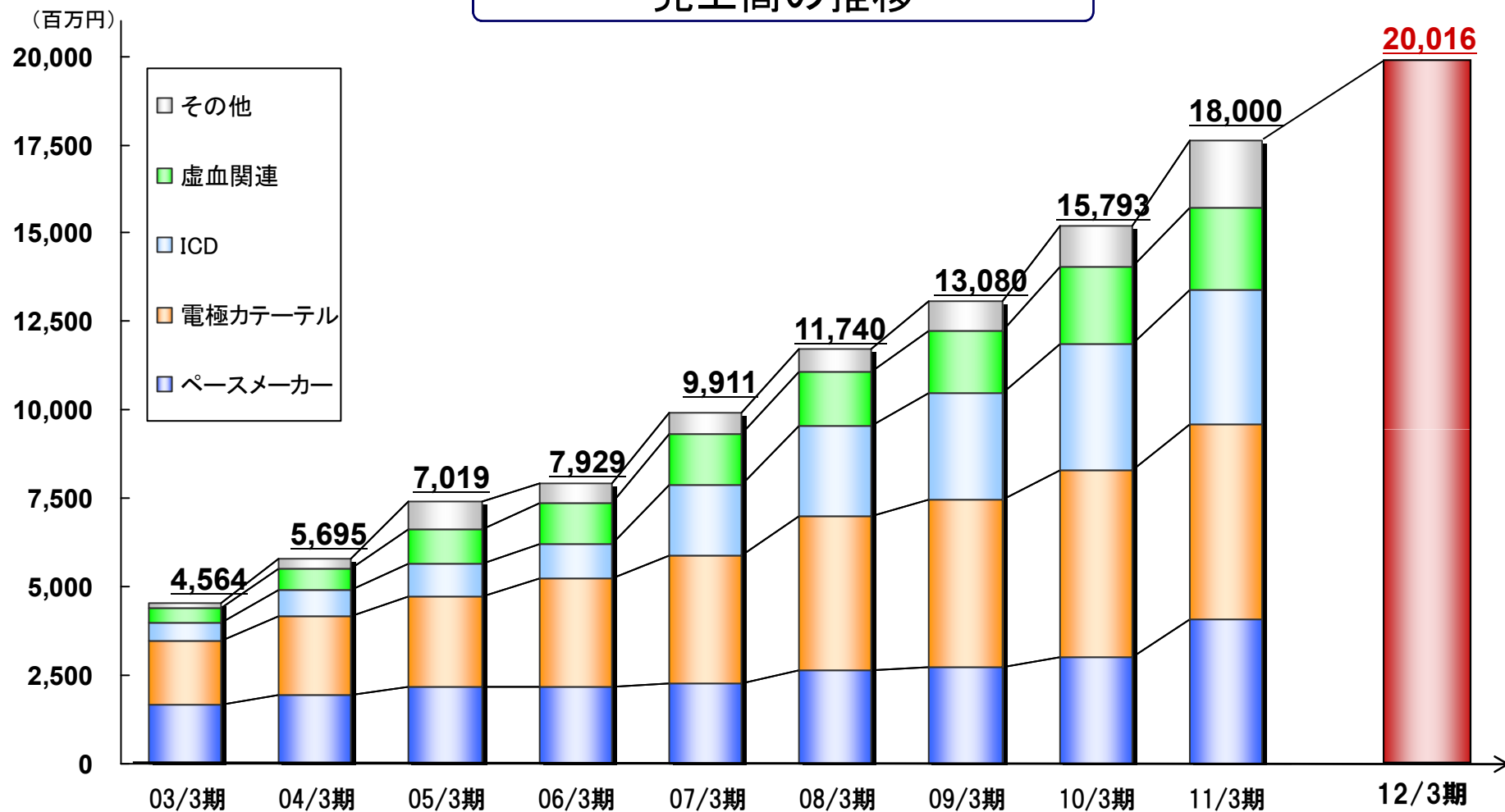
※ 08/3期の1株当たり配当金30円は2008年4月1日を効力発生日とした1:2の株式分割後の配当額を記載しております。

I 決算(実績と予想)

II 中期経営の方向性

売上高200億円体制

売上高の推移



(注1) 05/3期には、2004年2月1日付のディービーエックスジャパン株式会社との合併による売上高等の増加の影響が含まれています。

売上高200億円体制に向けた基盤構築と強化

1. 基盤事業における更なる市場深耕

2. 「技術サービス力」の積極的提供、
差別化推進

3. 「新製品パイプライン」の獲得、開発強化

4. 効率経営の実施



**Development
Venture**

xー「未知数」「無限の可能性」

ディーブイエックス株式会社 (DVx Inc.)

当社の主要商品(資料)

DVxは、“循環器分野”に特化した医療機器販売会社

不整脈事業

電極カテーテル
(心臓電気生理検査用)



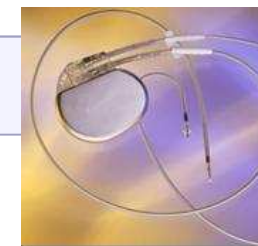
電極カテーテル
(アブレーション用)



ICD
(埋込み型自動除動器)

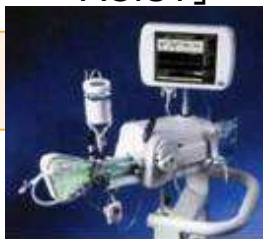


心臓ペースメーカー



虚血事業

自動造影剤注入装置
「ACIST」



エキシマレーザ
血管形成システム



PCIカテーテル



本資料における注記事項

- ◆ 本資料は投資家の参考に資するため、ディービエックス株式会社(以下、弊社)の現状を理解していただくため作成したものです。
- ◆ 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

- ◆ 本資料ならびにIR関係についてのお問い合わせ先

IR・広報室長 田島 恵美子 TEL:03-5985-6827 FAX:03-5985-6106

URL <http://www.dvx.jp/>